

ここが聞きたい!!

4名が登壇

田村三郎 議員

防災訓練の継続を!!



問 本年度の「消防訓練表」を見たところ、9月1日の防災の日の訓練がなくなっている。東南海、南海地震の区域に指定されている周防大島町として問題はないのか。中止にした理由を聞きたい。

答 (町長) 消防団東和支部の人員だけでも約300名、全体では約900名、よって周防大島町全体で訓練をするには予算的に困難である。支部独自でするようにしたいし、自治会から要望があれば9月1日以外の日に実施していきたい。

問 地域防災計画、震災対策編の防災訓練計画を見ると、少なくとも年1回以上実施するもの

とする、とあるが、ある程度日程のメドは立てていないのか。

答 (総務課長) 今年の9月1日は金曜日である為出来れば土、日曜日になるようにして実施していきたい。

問 災害応急体制の整備を見ると、震度4で第2警戒体制をとるようになっていたが、6月12日の地震で体制をとったのか。

答 (総務課長) 総務、建設、農林、水産課及び各総合支所でしっかりと体制をとった。



昨年の防災訓練

平野和生 議員

離島の振興を！ I・Uターナー者に光を！



問 本町には、国等の補助を受けた3航路があるが、将来的に再編があるのか。

答 (町長) 運輸局、県より収支率改善のため浮島航路と前島航路の一本化の提案がなされているが、長距離運航等、様々な問題を抱えている。今後とも最善の方法を求めて、関係各位と協議を重ねて行きたい。

問 離島の湯水対策、特に浮島は夏場の水不足が懸念されるが、どう考えているのか。

答 (町長) 情島は海底送水、他の3島は各島に自己水源の簡易水道施設があり、盆前後は倍に膨らむが、枯渇するまでには至っていない。浮島については、

海底送水も検討中である。

問 周防大島町の基本方針の中で、若者の定住促進や、U・Iターナー希望者の受け入れ強化に向けて町営住宅の計画的な整備、改築を推進するとある。しかし大島に住みたいのに住む所がないという話を聞くが、町としての対応はどう考えるか。

答 (町長) 現在、44団地695戸の町営住宅があるが、築後30年近く経った所もあり、修繕費及改修費に数千万円を要している。限られた戸数と公開抽選という事もあり、なかなか全ての人の希望どおりに行かないが、若者の受け入れに全力を尽したい。



久賀町営住宅